第 2013-01 号

恵みと真理のニュース

2013 年 1 月の一次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養 5 洞 458-5 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

［証］　偶像崇拝をしていた私を神様の働き人に変えてくださいました。

私は信仰の家庭で生まれました。しかし、私は思春期に入ったあと、教会から離れてしまいました。そして親を心配させる娘になっていました。しかし、お母さんは私のために涙を流しながら祈りました。時間が過ぎていくうちに‘これは何か間違っている。’と思い、変わっている自分をなんとか、戻そうとしましたが、そのときはもう遅れていたようでした。
お母さんは病と戦っていましたが、私の力では何もできませんでした。そんなお母さんが亡くなってから私は神様への憎みが強くなり、神様からもっと遠いこの世へ逃げ出してしまいました。私は偶像崇拝する人になり、占い師たちと毎日のように会って一緒に過ごしながらその仲間に入りました。さらに、近所の人たちにも占いを勧めておはらいをするようにしました。また、占いの中でももっとも有名なゲリョン山(韓国にある山)をまるで家のように毎日登ったりしていたら、私の人生には旦那も子どもたちも要らないと言っている占い師の話を信じるようになりました。そして私も半分占い師のようになって、人の人生まで揺らしたり、毎月の一日になるとお酒をまいて偶像を捧げたりするなど、徹底的にサタンの下部になってしまいました。また、亡くなったお母さんの道を整えてあげると言いながら時々おはらいもしました。今考えるととても愚かな者でバカバカしいことばかりしながら人生を無駄にしてしまったと思いますが、当時は結婚をして息子を産んで育ちながらもこの占いを辞めることができませんでした。
旦那が交通事故にあった後、今まで暮らしてきたソサン(韓国の地名)からソウル(韓国の地名)へ引っ越ししました。そしてまた違う偶像宗教にはまってしまいました。いろんな偶像の沼でジタバタしているとき、一生忘れられない日が近寄ってきました。2000年6月25日、恵みと真理が溢れる当会長チョヨンモク牧師先生のメッセージを聞くチャンスができたのです。そして御言葉の恵みと力によって私に大きな変化がおきました。両手を上げて主の御前に出てきたのです。限りない愛の神様は、堕落した私を見捨ていておらず、‘我を救いしくしき恵み、、、、’この賛美を歌いながら涙と鼻水を流し悔い改めの祈りをしました。牧師先生が語った“しかし、彼は、私たちのそむきの罪のために刺し通され、私たちの咎のために砕かれた。彼への懲らしめが 私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によって、私たちはいやされた。”(イザヤ53：5)この御言葉が心の深いところに根つきました。
虫、動物のような人生を過してきた私が教会で悔い改めの祈りとともに、神様を受け入れました。また、その日から首席区域長と一緒にすべても礼拝に参加し、伝道にも一生懸命に参加しました。2002年には神様はかわいい娘を与えてくださり、頭痛で苦労していた私を完治してくださいました。さらに腰の痛みもいつからか治っていました。神様の愛がどれほど大きいか、言葉や文字で表すこともできないぐらいであることをいろんな体験を通して悟らせてくださいました。
いつからか、区域長たちが持っているカバンがとても素的でうらやましかったです。また、聖歌台の席がとても高く見えましたが、私もその場で奉仕したいと願いました。そして頑張って信仰生活しながら伝道しました。どんな恵みか、どんなことなのか、神様が私にも区域長の務めを与えてくださって伝道賞をもらうようにしてくださいました。区域長になってとても嬉しくて肩が上がるぐらいでした。それでもっと頑張って主の働きをしたら、今度は神様が旦那も救ってくださいました。ハレルヤ！今は児童部先生の務め与えてくださり、もっと頑張って働くように時による恵みをそそいでくださいました。
“神よ。私の心はゆるぎません。私は歌い、私のたましいもまた、ほめ歌を歌いましょう。”(詩篇108：1)このようなダビデの告白が今日私の信仰と愛の告白になります。地獄で永遠に罰を受けるしかなかった私のような罪人をお許しくださり、神様の子どもとして生まれ変わるようにしてくださった神様。さらに、神様の御国の大事な務めを与えてくださった良き神様に感謝と賛美の栄光を捧げます。毎日約束の御言葉に頼るとき、信仰のレースで勝利を与えてくださる神様に最後まで依頼し、真こころをもって仕え献身する人生を歩みます。そして、当会長牧師先生が恵みと真理教会の聖徒たちに長く尊い恵みの御言葉を伝えてくださることを心から願います。

［信仰コラム］　ストレスとホメシス

“私たちは、四方八方から苦しめられますが、窮することはありません。途方にくれていますが、行きづまることはありません。”(Ⅱコリント4：7-9)

ストレスが私たちの体と精神に強い刺激を与えることによって悪い結果をもたらします。しかし、適当な刺激は逆に、有益な結果をもたらいます。このように有益な結果をもたらすその効果を、ホメシスと言います。職場で受けるストレスのせいで死にそうと言う人が本当に職場を辞めたら、毎日のように老いていきます。それは職場でのストレスが彼には適当な刺激であるホメシスになっていたため、それが老化を保つ働きをするのです。
キリスト人に迫ってくる各種のストレスを溜めず、すぐ解除しホメシスの状態にする秘訣があります。聖徒の中でもっともよく知られていることです。その中でもっとも大事なことは、その秘訣を心に決めて実践することです。
第一、祈りをもって神様に助けを求め、委ねることがその秘訣です。心配する間祈り続けることによって我々の理解を超える神様の平安が私たちの心と考えを見守ってくださいます。理性的に考えると、心が平安になれない状況であるにもかかわらず、心と考えの中に平安が訪れます。このような平安が神様からの平安なのです。この平安によってストレスをなくし、ストレスを乗り越えることができます。
モーセはイスラエルの民たちを導く大事な役割をしながら、何回も困難に直面しました。特に、民たちの憎みや不平不満はモーセにとってとても大きなストレスになりました。しかし、その問題を自分の力で解決しようとせず、祈りながら神様に助けを求め、委ねました。神様はそのストレスをホメシスの状態にしてくださってモーセが120歳になるまでも、神様に呼ばれる最後のその日まで元気よく働くことができました。
第二、賛美をもって神様に感謝し、栄光を捧げることがその秘訣です。連合軍の攻撃に対抗し賛美チームを組んで賛美をしながら前に進んだヨシャファト王。また、豊かなときにも貧しいときも苦しいときも、いつも賛美をしていたダビデ王、殴られ暗い監獄の中に入れられても夜中まで賛美をした使徒パオルとシラスは賛美の威力を見せた人物です。彼らはたくさんのストレスに対して賛美をもって対応し、それがホメシスになるようにしました。
たくさんのストレスで落ち込んだり、不安が迫ってきたとき、最高の対応は助け主の神様を見つめ、賛美することです。たくさんのストレスも主に賛美する聖徒に向けて悪いことをすることはできません。
第三、神様の御言葉で心豊かになることがその秘訣です。コロサイ3：16に“キリストのことばを、あなたがたのうちに豊かに住まわせ、、、”と記録されております。“住まわせ”という言葉を簡単に訳すと、“住ませる”という意味になります。神様の御言葉は生きている御言葉です。このような御言葉が私たちの心で満ち溢れると外部のストレスがいくら大きくても打ち勝つことができます。
使徒パオルはたくさんの試練と苦しみの中で迫害されましたが、そのすべてのストレスを十分に打ち勝ち、余裕をもって活動することができました。その秘訣は外部の圧力に相応する力、御言葉を胸に抱いていたからのです。
祈ること、賛美すること、神様の御言葉で心豊かになることによって、いくら大きなストレスがたくさんあるとしても十分ホメシスの状態に変えることができます。さらにストレスが我々に悪いことができないようにし、逆に神様との関係がもっと切なくなり、信仰の進歩が現られるようになります。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

問題に対する信仰的 認識

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

人は一生の間多くの問題に直面しながら生きて行きます．いろいろの問題はそこに応じる態度如何によって有害なのがなったりよいのがなったりします．だから私たちが学ばなければならないことは問題を賢く対応する態度です．聖書は問題を賢く対応する態度を教えてくれています．問題に対する対応態度はその問題に対する認識やその問題を見る視覚に係わります．問題に対してどんな認識を持って近付いて応じるかに関して教訓するお話たちが聖書にたくさん記録されています．模範的事例もたくさん記録されています．その中に非常に印象深くて感動的な話三つを選んでよく見ます．

第一は、当面した問題が奇蹟を体験する機会になるようにしたことです．

その人はモセです．モセはイスラエル民をエジプトで導き出して神様が約束したガナアンで導く事を遂行していました．神様がモセに言い付けるのを “民たちが帰ってビハヒロッ近くバアルスボン当たった方海辺に帳幕を張るようにしなさい．”
しました．そして引き継いでおっしゃるのを “私がところへの心を頑固にさせたから，まっすぐに行ってあなたたちの後を追撃するはずだが私はすぐと彼のすべての軍隊を通じて光栄を得るはずであり，エジプト人々は私がエホバであることが分かるようになるでしょう．” しました．モセは神様が言い付けたとおり民たちが海辺に帳幕を張るようにしました．前には紅海がうねて左右には高原地帯が開かれていました．これ以上行進することができない状態でした．
このような情況でエジプト軍隊が彼らを追撃して来ました．イスラエル子孫たちは恐ろしさに捕らわれて叫んでモセに恨みの言葉を浴びせました．モセは民たちに **“あなたたちは恐ろしなくて以外にじっと立ってエホバが今日あなたたちのために行う救援を見なさいあなたたちが今日の見たエジプト人を再びは永遠に見られなかろうエホバがあなたたちのために戦うだからあなたたちはじっといるべきだ”（出 14:13,14)** しました．神様がモセに指示しました．“イスラエル子孫に言い付けてこれから進むようにしてあなたは杖を持ってあなたの手を海の上で突き出して海を割れるようにしなさい．そんなにすればイスラエル子孫たちが海の中乾いた地に過ぎ去ることができるでしょう．”
モセが神様の指示どおりしたら海が割れて海の中道が開かれました．イスラエル子孫たちが海の中開かれた道に渡りました．これを見たエジプト軍隊が後に従ったがモセが神様の指示どおり手を突き出すと海が元々どおり回復してエジプト軍隊が皆海におぼれて死ぬようになりました．
私たちがこの事件で学ばなければならないことは問題を対応するモセの態度です．モセは“あなたたちは恐ろしくてないでね．”と言ったし“じっと立っていなさい．”と言いました．

モセはその理由を言いました．“エホバがあなたたちのために行う救援を見ろ．” しました．またモセは “私がところへの心を頑固にさせたから，まっすぐに行ってあなたたちの後を追撃するはずだが私はすぐと彼のすべての軍隊を通じて光栄を得るはずであり，エジプト人々は私がエホバであることが分かるようになるでしょう．”という神様のお話を憶えていました．モセはこの二つの事実によってイスラエル子孫たちに胆大で確信におかず口調で叫びました．“あなたたちが今日の見たエジプト人を再びは永遠に見られなかろう．” 私たちは当面した問題を神様の行う救援の手助けを見るようになる機会と認識するモセの態度を模範としなければなりません．

第二番目は、当面した問題がご飯になったことです．

イスラエル子孫たちがエジプトを去ってから 1 年 7 ヶ月になってカデスバネアに到着しました．その所でモセはイスラエル各支派代表たち 12 人を選んでガナアン地を探るように言い付けました．12 人の忍者たちは 40 日間ガナアン地を隅隅まで探知して帰って来ました．待ちわびる民たちに彼らが探り報告をしました．12 人の中ヨシュアとガルレブを除いた十人はガナアン地を悪評しました．その地に住む民は強くて，城邑たちは非常に大きかったと言いました．彼らが私たちより強いから戦争で勝つ勝算がないと言いました．その報告を聞いた民たちが大きく気を落としました．音を高めて叫んで泣きわめきました．ヨシュアとガルレブが民たちの心を振り返えるようにしようと彼らの前で服を裂きながら言いました．“私たちが 隅隅まで通って探知した地はとても良い地です．エホバが私たちが好きに思ったら，私たちをその地に連れて行ってその地を私たちにくださるでしょう．その所は乳と蜂蜜が流れる地です．” しました．そして引き継いで言いました．**“ヨホバを逆わないでください．皆さんはその地民を恐れないでください．彼らは私たちのご飯です彼らの保護者は彼らを去ったしヨホバは私たちと一緒にともなうから彼らを恐れないでください”（民 14:9)**．このようにヨシュアとガルレブは当面した問題を認識する態度が全然違いました．十人の忍者がガナアン原住民たちを恐れた根本原因はガナアン地をくださると約束した神様が彼らと一緒にいらっしゃるという事実を見逃したのにありました．一方にヨシュアとガルレブがガナアン原住民たちをご飯と言った理由はガナアン地をあなたたちに与えたとおっしゃった神様が一緒になさることを念頭に置いたからです．神様は 十人の忍者を処罰して，当時 20 歳以上の人々はヨシュアとガルレブを除きその日から 38 年の広野生活で死ぬようにしました．38 年が経った後ヨシュアとガルレブがイスラエル子孫たちを導いてガナアンを占領するようにしました．果してガナアンの城邑と民はヨシュアとガルレブの前にこしらえた食事に違いなかったです．このようなメッセージはヨシュアとガルレブが当面した問題をどんなに認識して応じたのかを鮮かに現わしてくれます．私たちは約束した神様が一緒になさることを信じて当面した問題をご飯で認識するヨシュアとガルレブの態度を模範としなければなりません．

第三番目は、当面した問題が蜂蜜になるようにしたことです．

ガナアン地に定着したイスラエル民族が王国を立てるまでは軍事的，政治的リーダーとして英雄的なひとが活躍した人々がいました．これらを士師と呼びます．サンソンも士師の中の一人です．成長するようになったサンソンがある日ディムナに下がりました．彼がディムナのぶどう農園に至った時突然と獅子一匹が飛びかかりました．サンソンは荒てるとか逃げないで堂堂と獅子と競いました．サンソンは獅子をまるでやぎの子を裂いて殺しました．そんな事がある地多くの日後サンソンがまたその道を通るようになったが彼が殺した獅子思い出して獅子の死骸がある所に行って見たら不思議にも獅子の身に蜂が飛んでそこに儲け蜂蜜をおいたことを見ました．サンソンはその蜂蜜を取って食べてご両親にお持ちにあげました．
このような事件記録で私たちは問題を対応する知恵を学ぶことができます．サンソンがぶどう農園に行く町角で獅子に会って争うようになったことには神霊な教訓があります．ぶどう農園に行く道で大声を出す買おうという聖徒たちの霊的進歩と成長を邪魔する勢力を示します．ペテロ１には “謹身しなさい覚めなさいあなたたちの対敵魔鬼が泣く獅子のようにあまねく通いながらのむ者を捜すだからあなたたちは信仰を固くして彼を対敵しなさい”（ペテロ１ 5:8) しました．魔鬼の攻撃手段は非常に多様です．各種の異端で惑って踏み躙ります．この世の中ものなどが信仰生活をなおざりにするように誘惑します．逼迫を受けて滑落するようにします．そして疾病による苦痛 人間との関係の傷，愛する人との別離，経済的な困難などがある時気落ちして信仰生活で遠くなるように衝動します．いろいろの問題を通じて攻撃する泣く獅子みたいな魔鬼を私たちが胆大に応戦しなければなりません．
私たちが当面する問題に対する賢い対応方法があります．祈る対応方法があります 感謝して讃尿する対応方法があります．聖書の言葉を黙想して暗誦する対応方法があります．聖霊に頼る対応方法があります．**“私たちのしばらく受ける患難の軽いのが極めて大きくて永遠な光栄の重いことを私たちに成すようにするだから私たちの見回ることは見えるのではないです見えないことだから見えることは 一時的であり見えないことは永遠につづくのであると”（コリントⅡ4:17,18)**告げました．聖徒 皆さんの霊的進歩と成長を阻むどんな問題でも恐ろしなくて以外に大胆に応戦してください．サンソンが獅子の死骸で蜂蜜を取ったように皆さんの勝ち抜けた問題は多方面に有益を得るようにしてくれるでしょう．神様がくださる褒め言葉と光栄と尊貴も得るようにするでしょう．問題が蜂蜜になることができるという認識を持ってください．

聖徒の皆さんも当面した問題が奇蹟を体験する機会になるようにして，当面した問題がご飯がなるようにして，当面した問題が蜂蜜になるようにしたことの主人公になるように願います．